

見えるサプライチェーン

小規模製材所ができること

チューモク株式会社
木材製品部 部長 上田純和

チューモク株式会社 概要



創立 :昭和22年2月14日
主要業種 :外材／伐採／製材／プレカット／チップ
 バーク／住宅不動産／総合建設／建材品
 石油／ゴルフなど…11事業部門
本社 :富山県南砺市田中793
工場 :製材・プレカット・チップ・バーク工場



近年の取り組み①

県産材『南砺の木』を活用して、
南砺市に木造倉庫をつくろう！ 



伐採地検品



自社製材



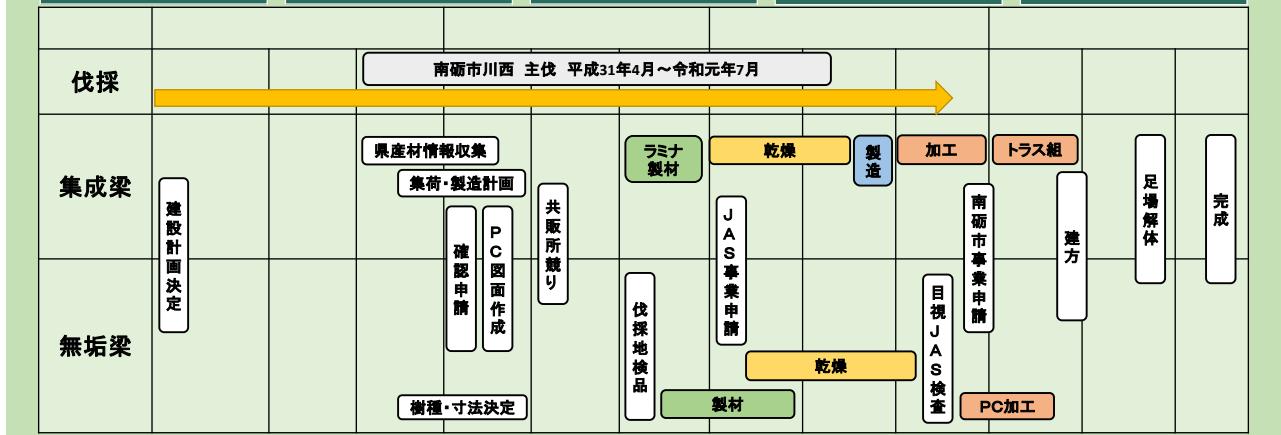
目視JAS検査



建方



完成



近年の取り組み②



ジュートピア富山 2017. 10. 7 OPEN

● 木の恵みを活かした『チューモクの家づくり』
コンセプトは「新・和モダン」



富山県産杉の格子材

外構材支援事業



南砺市産杉の木製塀

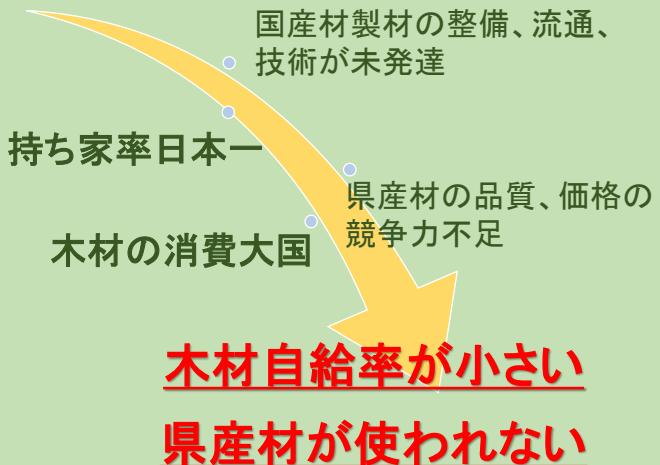


地元資源を適材適所で有効活用!!

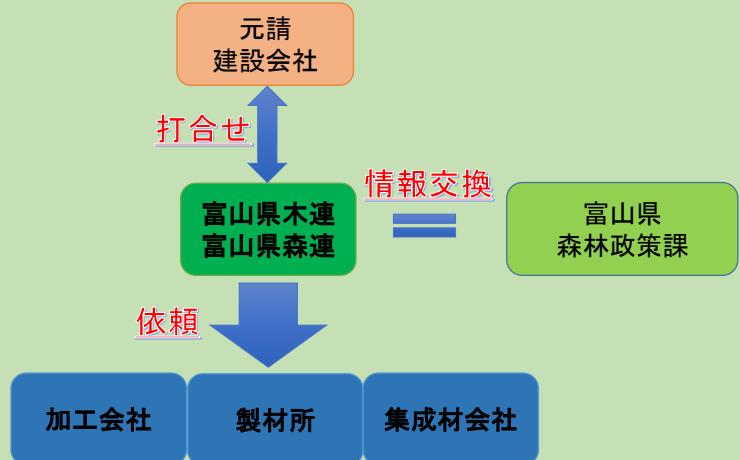
富山県の木材事情



北洋材の国として繁栄



富山県の木材供給体制の転機



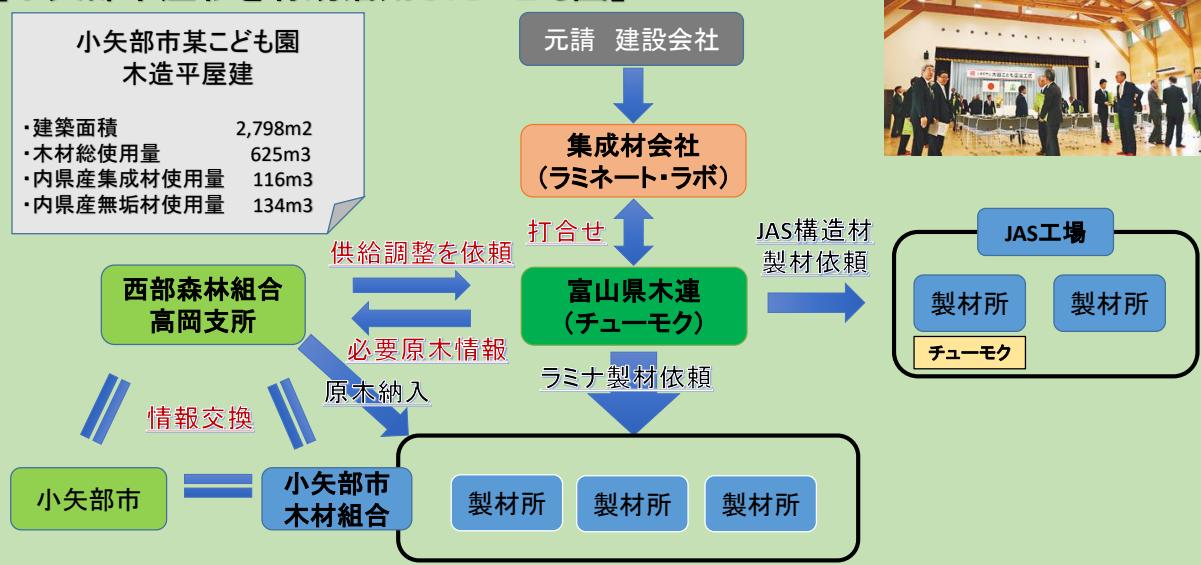
県内製材所の協力体制のスタート

富山県産材の流通における問題と課題

- ① 県内の建設業界において、富山県の杉は、悪い、弱い、高いというイメージが根強く残っている。よって使われない。使ってないから、使い方がわからない。
- ② 北洋材の国として繁栄していた為、県産材製材の整備、流通、技術が未発達。
- ③ 一つの工場で多品目を製材する小規模の製材所が多く、木材の農林規格に準ずるような品質や、合法性に対する意識が小さい。
- ④ 木材の生産地と比べ、立木の品質がよくない上に、使い方、使われ方がわからない闇雲な造材が行われている。

増えつつある公共非住宅の木造化

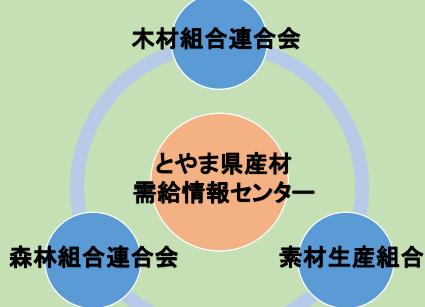
【小矢部市産杉を有効活用したこども園】



とやま県産材需給情報センターの設立



2018年4月 設立



需要情報に応じて
伐採・乾燥・製材を計画

調達量・時期・
材種・価格などの
希望条件を提示



とやま県産材
需給情報センター

情報を
一元化

工務店・設計者

在庫・見積情報

調達希望時期に納入



森林組合 A
製材工場 A
森林組合 B

森林組合 B
原木市場

製材工場 B
森林組合 C

森林組合 C
生産者

需給情報センターの活動事例

富山県立大学学生会館 木造2階建

- 建築面積 670m²
- 木材総使用量 252m³
- 内県産集成材使用量 95m³
- 内県産CLT使用量 36m³
- 内県産無垢材使用量 72m³
- 内県産合板使用量 3m³



◎事前協議内容

県産材で調達し易い素材、寸法をり合わせ
原木の流通状況、製材所の協力体制を確認



活動	基本設計		実施設計		入札						建方			
	① 打 合 せ	設計 見 積 協 力	② 打 合 せ	原 木 流 通 状 況 確 認	納 材 体 制 確 認	③ 打 合 せ	④ 打 合 せ	ラ ミ ナ 発 注	製 材 品 発 注	製 材	乾 燥	集 成 材 ・ CLT	加 工	造 作 材 発 注
ラミナ														
製材										製材	乾燥			
造作材												製材	乾燥	加工

富山県産材の流通における問題と課題

- ① 県内の建設業界において、富山県の杉は、悪い、弱い、高いというイメージが根強く残っている。よって使われない。使ってないから、使い方がわからない。



基本設計時より打合せを行い、適材適所での利用が増加

- ② 北洋材の国として繁栄していた為、県産材製材の整備、流通、技術が未発達。



国産材利用拡大事業等の政策で、地域材利用の建築物が発注され、それに伴う技術力拡大、生産力拡大に意欲が出てきた。

富山県産材の流通における問題と課題

- ③ 一つの工場で多品目を製材する小規模の製材所が多く、木材の農林規格に準ずるような品質や、合法性に対する意識が小さい。



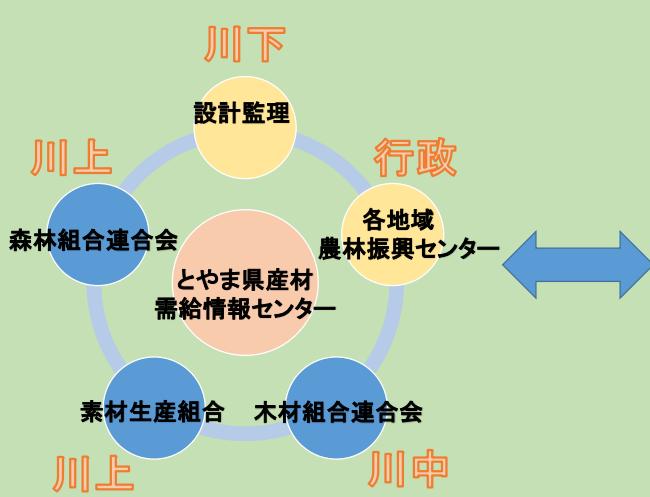
発注の際に納材基準を示すとともに、どういう経緯でこういう木材が必要かを説明。原木の伐採地への関心が高まった。

- ④ 木材の生産地と比べ、立木の品質がよくない上に、使い方、使われ方がわからない闇雲な造材が行われている。



造材前に必要な材の情報を川上に出す事により、伐採後の利用歩留りが上がり、山側への利益還元に繋がった。

これからのとやま県産材需給情報センター



各階層での問題

行政

・持続可能な資源にするためには？

川上

・どう切ればよいのか？

川中

・どう製材すればよいのか？

川下

・何を使えばよいのか？

トータル的なアドバイスでスムーズなサプライチェーン形成を支援

まとめ



伐採業者



建築設計士



行政

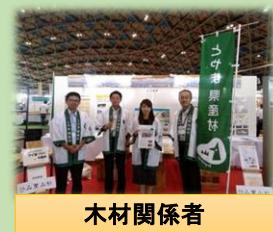
木造建築物は、顔が見えるサプライチェーンで構成

顔の見える = 安心、安全、信頼における資材

地元の人が作る、顔が見える建築物



循環型社会の形成



木材関係者



100年企業を目指します。

会社を永遠に存続させることができ、地元の資源を循環し続ける。



ありがとうございました。

チューモク株式会社